

豊かな自然 心ふれあう

20
年頭の



浦幌町議会議長

水沢 一広

みずさわ・かずひろ

効率的・効果的な行財政運営がされるよう議会本来の責務を果たして、厳しい時代に対応した議会活動を展開します

あけましておめでとうございます。

皆様には平成18年の輝かしい希望の年を迎えられお喜びを申し上げます。平素から議会活動に御理解と御協力をいただいております事に改めて感謝を申し上げます。

昨年は、豊頃町との間で進めておりました合併協議が、組織機構の取り扱いについてまとまらずに法定協議会が解散に至るとい幕開けでした。

今は残された「自主・自立」という道を切り開いていかなければなりません。

三位一体改革は税源が少なく地方交付税に大きく依存している浦幌町にとっては大変厳しいものであり、大胆な行財政改革で効率化を図り、歳出の削減を図るなど一層の財政健全化を進めることは急務となっております。

十勝の町村会は10年後に十勝を一つにする中核都市構想を打ち出しました。

それまでの間は合併も視野に入れながら広域連携を進めるとの事であり、まだ具体的なものではありませんし、是非についても種々論議があるところでありますが、「策定委員会」で今後の構想が話し合われる予定となっております。

浦幌町が10年先まで自主・自立していけるのかは行財政改革の行方と地方交付税にか

かっており、これからも難しく厳しい選択の道が待っています。議会として全力を傾注して活気ある町づくりに取り組んでいく覚悟であります。

浦幌町議会は2期連続して定数の削減を行い、他町に先駆けて議員報酬の引き下げを行ってきました。

現在は十勝管内で最低の議員報酬となっておりますが、今期も「議員定数調査特別委員会」を設置して根本的な議会設置の意味、議会のあり方も含めて議会の機能、議会の責務を果たしえる議員定数について3月定例会までに結論を出すべく協議を進めています。

今後とも議会は効率的・効果的な町財政の運営がなされるようにチェック機能という議会本来の責務を果たして、厳しい時代に対応した議会活動を展開し、町理事者と共に少しでも住みよい町づくりを目指し、誤る事のない道を模索していきたいと考えておりますので、今後とも一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

終わりに、平成18年が町民の皆様にとりまして御健勝で幸多き年でありませうようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。